

第4章 施策

1 施策の体系

北海道が目指す「自立」と「共生」の基本理念を実現すため、「生きる力を引き出す教育」「質を高める環境」「地域と歩む教育」の3つを施策の柱に、22の施策項目を設定し、10年後を見据えた施策の方向性に向かって個別・具体的取組を推進することとしています。

2 体系図

3つの施策の柱

22の施策項目

施策の柱1

子どもたちの
**生きる力を引き出す
教育の推進**

- ① SDGs・ESDの推進<PO~>
- ② 幼児教育の充実<PO~>
- ③ 新しい時代に必要となる資質・能力の育成
(小・中学校) <PO~>
- ④ 新しい時代に必要となる資質・能力の育成
(高校) <PO~>
- ⑤ 特別支援教育の推進<PO~>
- ⑥ STEAM教育の推進<PO~>
- ⑦ キャリア教育の充実<PO~>
- ⑧ 体力・運動能力の向上<PO~>
- ⑨ 健康教育・食育の充実<PO~>
- ⑩ 道徳教育の充実<PO~>
- ⑪ ふるさと教育の充実<PO~>
- ⑫ グローバル人材の育成<PO~>

施策の柱2

学びの機会を
保障し**質を高める
環境の確立**

- ⑬ ICTの活用推進<PO~>
- ⑭ いじめ防止の取組の充実<PO~>
- ⑮ 不登校児童生徒への支援の充実<PO~>
- ⑯ 教員の養成・採用・研修の一体的な改革
の推進<PO~>
- ⑰ 働き方改革の推進<PO~>
- ⑱ 学びのセーフティネットの構築<PO~>

施策の柱3

**地域と歩む
持続可能な
教育の実現**

- ⑲ 地域と学校の連携・協働の推進<PO~>
- ⑳ 生涯学習・社会教育の振興<PO~>
- ㉑ 安全・安心な教育環境<PO~>
- ㉒ 芸術文化活動の推進<PO~>

3 ページ構成

施策の柱

施策項目

施策の方向性

施策の柱に向かい 10 年後を見据えて推進する施策の方向性です。

主な取組

施策の方向性に対する主な取組です。

施策は見開き 2 ページ

関連する SDGs の目標

施策に関連する持続可能な開発目標です。

施策の柱 1 子どものたちの生きる力を引き出す教育の推進

施策項目 3 新しい時代に必要な資質・能力の育成（小・中学校）

施策の方向性 ~10年後を見据えて~

- 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学力向上に向けた教育活動の検証と改善に全ての教職員の参加によって組織的に取り組めます。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、新しい時代に必要な資質・能力を育成します。
- ICT等を活用し、学進段階に応じて、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。
- 不規則な生活による学習意欲の低下などを改善するため、子どもの望ましい生活習慣や学習習慣*の定着に向けた家庭・地域と連携した取組を促進します。

主な取組

- **教育課程の実施状況を評価してその改善を図る検証改善サイクルの充実**
 - ・ 各学校教育管理職のリーダーシップのもと展開される教育活動の検証と改善の充実
 - ・ 調査結果の分析に基づく研修会や指導主事の指導助言等により、各学校が学力向上に向けた教育活動の検証と改善を組織的に実践
- **主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**
 - ・ 指導方法や指導体制の工夫等の指導助言による全教員の指導力の向上
 - ・ 教員向けの研修会や各種資料提供を行うなど、全ての教科書における言語活動の充実
- **ICT環境を最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実**
 - ・ 個々の興味・関心・意欲等を踏まえて、きめ細かな指導・支援することなど、1人1台端末の活用による個に応じた指導の充実
 - ・ 探究的な学習や体験活動を通じて子ども同士が多様な他者と協働しながら行う学びの促進
- **家庭・地域と連携した望ましい生活習慣・学習習慣の定着**
 - ・ 資料の配付や研修会の開催による子どもの生活習慣に対する保護者等の意識
 - ・ フォーラム開催など団体、企業等と連携した地域ぐるみの取組の促進
- **言葉を選び、感性を磨き、表現力を高める読書活動の推進**
 - ・ 学校における読書習慣確立に向けた全校一斉読書等の取組の強化
 - ・ 市町村立図書館や公民館等の施設とボランティア等の連携による子どもの読書に親しむ機会の推進

関連する SDGs の目標

1 貧困 2 健全な生活 3 働きがいと経済成長 4 質の高い教育 5 性別平等 17 持続可能な開発目標

- コミュニケーション能力や主体性を育む体験活動の充実
 - ・ 遠立書少年体験活動支援施設等を核とした学校・地域・公立書少年教育施設等との連携強化

Topics 【学校段階間の連携・接続の推進】

児童生徒の発達段階に応じた体系的な教育活動の充実のため、学校段階間の接続を重視した教育課程の編成・実施や指導方法の工夫・改善を図るとともに、各学校間の連携を促進します。

- ・ 幼稚園、認定こども園及び保育所の意見を踏まえたスタートカリキュラムを編成する小中学校の推進
- ・ 義務教育9年間を通じた教育課程作成及び普及とともに、地域や学校に応じた支援の強化
- ・ 高等学校における、必要に応じた学びの拠点を踏まえた教育課程を編成するなど中高の連携の充実

Information Communication Technology

- ・ クラウドを活用した情報共有ネットワークの構築による学校間の一層の交流
- ・ 各学校で実施するテストのCBT*化による1人1台端末の活用を促進

【推進指標】

指 標	現 状 値	目 標 値

担当課 HP

●CBT：Computer Based Testing
 画面の読み取りや全画面ショットで行うこと、問題の配付、回答の入力、答案の作成、採点・集計をコンピュータで実施可能
 ●子どもの望ましい生活習慣・学習習慣
 *子どもの望ましい生活習慣は、毎朝目覚め時に起きること、お風呂を洗っていること、軍隊的姿勢（姿勢）に立つこと、ゲーム等の時間を取るなどの楽しみながら生活すること、学習習慣は、家庭学習時間を通して勉強をすること、地域の設備に比べて学校の設備内に10分間の学習時間を設けて勉強することなど、定着して欲しい家庭における学習習慣のこと。

続く

ICT
 注目度が高いICTを活用した主な取組を記載しています。

用語解説
 本文中の「*」を付した用語を解説しています。

推進指標
 施策の方向性の達成状況を把握するための指標です。

担当課 HP
 施策を推進する担当課のホームページにつながります。

Topics
 複数の施策項目に関連する3施策をメインとして取り組む施策項目に記載しています。
 ※施策項目3に「学校段階間の連携・接続の推進」を、施策項目20に「家庭教育支援の推進」「読書活動の推進」を記載。